

富士見町議会だより

臨時号

10月臨時会報告

富士見メガソーラー建設計画着手 9,700万円増額計上 賛成6・反対4で可決!

〔議案の趣旨〕

7月20日の臨時会で発電事業計画調査費として、富士見メガソーラー株式会社出資金300万円の補正予算が可決されました。それを受け、公募によりメーカーをNTTファシリティーズに決定。メガソーラー建設計画を進めるため、新たに富士見メガソーラー株式会社に増資700万円、株式会社内に設立する匿名組合出資金9000万円の合計9700万円を一般会計補正予算に計上するものです。

〔事業内容〕

運営は、町が出資した第3セクター「富士見メガソーラー株式会社」。総事業費8億円の内、町が2億円を投資、残り6億円は金融機関から町の無担保・無保証で借り入れる。20年間で19億4000万円の売上を見込み、収益7億3000万円を主に土地開発公社所有の平岡・烏帽子住宅団地予定地が抱える負債11億7000万円の返済に充てる計画です。

主な質疑 (質問順)

名取武一：町民説明会は1回しか開かれていない。しかも賛成派の動員もあったように思うが。

町 長：町民の代表である議会です。十分議論されている。賛成者の動員はしていない。

名取武一：補正予算は今回必要な分だけにして、町民の声を聞く機会を設けるべきではないか。

町 長：これ以上延ばすと買取価格42円を前提としたビジネスプランが成り立たなくなる。

小池博之：初期投資8億円は高すぎるのではないかと。

町 長：信頼できる国内産パネルを使用。コストダウンにはこれからも努力する。

宮下伸悟：発電事業による利益を土地公の借金返済だけでなく、公益的な目的に使う考えはないか。

町 長：借金を返すためだけでなく、ソーラーの普及、災害時の電力確保など安心安全なまちづくりに生かしていきたい。

加々見保樹：劣化により発電量が落ちた場合赤字にならないかと。

町 長：売電量は2メガだが発電量は2.3メガ。余分にパネルがあるので問題ない。

加々見保樹：国のエネルギー政策が不確定のなか、将来太陽光発電が見直されることはないか。

町 長：将来価格が下がるおそれはあるが、平成25年3月31日までに契約したものは、42円20年が守られる。

佐久祐司：3セク設立に対する県市町村課の見解は。

町 長：法律で禁止されていることではないので、許可を得るといって問題ではない。議会、町民の理解を得て実施するように言われている。

佐久祐司：事業性を評価するための資料の提出を求めたが、提示されないのはなぜか。

町 長：これ以上は企業秘密なので答えられない。NTTファシリティーズは実績もあり信頼できる。

五味平一：町民の理解は得られたと考えているか。

町 長：全ての町民ではないが、話をする多くの人は賛成している。

五味平一：リスク管理についてはどのように考えているか。

町 長：施設については保険で対応、42円20年は電力会社の経済的な理由によって売電を抑制されることがない契約にする。

小林市子：後期基本計画との整合性は。

町 長：固定価格買取法が始まったのは今年7月。今後総合計画に織り込んでいく。

小林市子：町長が社長を兼務することは問題ではないか。

町 長：時間がない中、町長自身がリーダーシップをとり、進めていく必要がある。発電事業を開始する時は改めて考える。

小池 勇：匿名組合設立の意図は。

町 長：FMKの中に匿名組合を設立し、町と匿名組合が契約することで法人税、配当金に関わる税金がかからなくなる。また匿名組合をつくることで、2億円の投資以外に町の責任はなくなる。

三井新成：監査役には反対意見の人の活用を考えてはどうか。

町 長：検討の余地はある。

平出隼仁：系統連系協議が終わってからの大型補正でも良いのではないかと。

町 長：林地開発の申請に資金計画が必要になる。事業実施が決まれば、系統連系費用も含め今回の補正額が必要になる。